

テモテへの手紙第二 3:1-9 不義に対する義の応答

フィリピンに、一つのことわざがあります。これは、グループ内での悪い影響が、いかにほかの人たちにも影響するかを表すのによく用いられ、汚職や非倫理的な行為のような問題は、放置すれば広がり得る、ということも示しています。そのことわざは、は「新鮮なトマトのかごの中に一つ腐ったトマトがあると、全部が腐る」というものです。英語にも、「一つの腐ったりんごがほかのリンゴも腐らせる」ということわざがあります。日本の「朱に交われば赤くなる」も似た意味で使われることがあります。聖書には、このことを裏付けることばがあります。**コリント人への手紙第一 15 章 33 節「惑わされてはいけません。「悪い交際は良い習慣を損なう」のです。」**

今日は、テモテへの手紙第二 3 章 1～9 節を読みます。

英語の聖書には、翻訳の種類によって、この箇所異なる見出しがついています。

ESV では「終わりの日の不敬虔」、NKJV では「危険な時代と危険な人々」、NLT では「終わりの日の危険」となっています。私は、今日のメッセージの題を、「不義に対する義の応答」とすることにしました。

「不義」とは何かを理解するために、まず「義」とは何かを理解することから始めましょう。辞書では、「義」とは道徳的に正しい、あるいは正当であるという性質と定義されています。聖書においては、神ご自身が義の基準です。この基準は、人が到達できるものではありません。**イザヤ書 64 章 6 節に、次のようにあるとおりです。「私たちはみな、汚れた者のようになり、その義はみな、不潔な衣のようです。私たちはみな、木の葉のように枯れ、その咎は風のように私たちを吹き上げます。」**私たちは、自分の力では決して、神の目において義とされることはできません。しかし、良い知らせがあります。それは、イエスが十字架で成し遂げてくださったことによって、私たちは神の目に義とされたということです。**コリント人への手紙第二 5 章 21 節に、次のようにあります。「神は、罪を知らない方を私たちのために罪とされました。それは、私たちがこの方において神の義となるためです。」**もちろん、私は今、イエスを自分の人生に受け入れた人たちについて語っています。これは、次の聖書箇所に基づいています。**ローマ人への手紙 10 章 9～10 節、「ぜなら、もしあなたの口でイエスを主と告白し、あなたの心で神はイエスを死者の中からよみがえらせたと信じるなら、あなたは救われるからです。人は心に信じて義と認められ、口で告白して救われるのです。」**そして、**エペソ人への手紙 2 章 8～9 節「この恵みのゆえに、あなたがたは信仰によって救われたのです。それはあなたがたから出たことではなく、神の賜物です。行いによるものではありません。だれも誇ることのないためです。」**ですから、これらに基づいて「義」を次のように理解することができます。「イエス・キリストを通して、恵みのゆえに信仰によって義と認められ、神の前に正しいとされる性質。神のみことばと聖霊によって日々聖くされていること。」したがって、「不義」とはその反対の状態です。すなわち、**キリストにある者ではないために、神の前に正しいとされていない状態**のことです。このメッセージの題を「不義に対する義の応答」としましたが、今日の聖書箇所には、二種類の応答が書かれています。**第一に、義である人々が不義に対して示す応答、そして第二に、神ご自身が不義に対して示される義なる応答です。テモテへの手紙第二 3 章 1～5 節を読みましょう。終わりの日には困難な時代が来ることを、承知していなさい。² そのときに人々は、自分だけを愛し、金銭を愛し、大言壮語し、高ぶり、神を冒瀆し、両親に従わず、恩知らずで、汚れた者になります。³ また、情け知らずで、人と和解せず、中傷し、自制できず、粗野で、善を**

好まない者になり、⁴ 人を裏切り、向こう見ずで、思い上がり、神よりも快樂を愛する者になり、⁵ 見かけは敬虔であっても、敬虔の力を否定する者になります。こういう人たちを避けなさい。終わりの日についてパウロがいくつかの項目を列挙しています。これが今起きているか、そして私たちが実に終わりの日にいるのかを見てみましょう。自分だけを愛する。ソーシャルメディアが台頭した今、人々がこのような媒体上で最もよく発信するのは何についてでしょうか？自分自身についてではないでしょうか。ソーシャルメディア全体を占めているテーマは「自分」です。個人のアイデンティティ、経験、意見、画像が主な投稿の中身です。確かに、人々はニュースや時事、芸術や思想も共有しますが、常に「自分」がその語りの中心にあります。ある説教者はこう言っています。「昔は、美しい滝を見たら、その滝の写真を撮ったものだ」「しかし今では、美しい滝を見たら、自分が写った滝の写真を撮る」「もはや私たちは、美しいものを見るのではなく、自分をその中に割り込ませているのです」自然の美しささえも、自分の物語の背景となってしまっています。もちろん、自分の写真を撮ること自体が悪いわけではありません。問題なのは、自分の欲求や願望がほかの何より、そして神よりも優先され、「すべては自分中心」という考えになるときです。ジョン・パイパーによれば、人間は神のかたちに造られ、自分に称賛を集めることなく、神の栄光を現すことに喜びを見出すように造られたのです。ジョン・パイパーはこれを、現代の自己の概念と対比させ、真の充足は自己愛や自己肯定ではなく、神との正しい関係と、神の偉大さに目を向けることから来ると論じています。

すべてのものが神から発し、神によって成り、神に至るのです。この神に、栄光がとこしえにありますように。（ローマ人への手紙 11 章 36 節）あなたがた一人ひとりに言います。思うべき限度を超えて思い上がってはいけません。（ローマ人への手紙 12 章 3 節）

次に、金銭を愛する。使徒パウロは、若き弟子テモテへの第一の手紙でこう述べています：「金銭を愛することが、あらゆる悪の根だからです。ある人たちは金銭を追い求めたために、信仰から迷い出て、多くの苦痛で自分を刺し貫きました。」（テモテへの手紙第一 6 章 10 節）この世では、明らかに、お金を持っている人は、さらに多くを欲しがります。貪欲は蔓延しており、実際、多くの犯罪が金銭を原因として起こっています。大言壮語し、高ぶっている。これは、自分だけを愛することと結びついています。英語の pride、うぬぼれ、思い上がりという言葉の真ん中には I（私）があります。神を冒瀆する。（英語聖書では、虐待的であること、なっています。）ネットを見ればいくらでも、親が自分の子どもを虐待し、飢え死にさせるような事件を目にします。また、権力の乱用、配偶者を暴力で傷つけることなど、世の中にはほかにも数え切れないほどの虐待が存在します。両親に従わない。これは外の世界を見るまでもなく、わかるはずです。ここにいる私たちのうち、一度も親に逆らったことがないと言える人がいるのでしょうか。私自身は、逆らったことがあると認めます。この聖書箇所にはさらに多くの不敬虔な行いが列挙されていますが、それを一つひとつ取り上げていたら、皆さんは私のメッセージをもう二度と聞きたくなくなるでしょう。3 時間以上かかってしまうかもしれませんから。（とはいえ、それらすべては「自分を中心または、すべての最上位に置くこと」による副産物だと思います。）それでは、5 節の最後の部分を見ましょう。「見かけは敬虔であっても、敬虔の力を否定する者になります。」これはどういう意味でしょうか？これは、自分はクリスチャンだと称しながら、実際にはクリスチャンとしての行いをしていない人々のことです。テトスへの手紙 1 章 16 節に「彼らは、神を知っていると公言しますが、行いでは否定しています。彼らは忌まわしく、不従順で、どんな良いわざにも不適格です。」とあるように、表向きの宗教的行いにばかり目を向け、心

の状態を顧みなかったために、イエスにしばしば叱責された律法学者やパリサイ人と同じです。

イエスは彼らに何と言ったのでしょうか。「**わざわざ、偽善の律法学者、パリサイ人。おまへたちは白く塗った墓のようなものだ。外側は美しく見えても、内側は死人の骨やあらゆる汚れでいっぱいだ。**」²⁸ 同じように、**おまへたちも外側は人に正しく見えても、内側は偽善と不法でいっぱいだ。**」（**マタイの福音書 23 章 27~28 節**）クリスチャンを名乗ってはいても、実生活においてはクリスチャンではない人々です。人生が帰られておらず、聖霊の力によって生きていません。パウロは、このような人々について、牧師であるテモテに警告しているのです。ですから、1 節からもう一度読んでみて、これらの不敬虔な人々が教会の中にいる人たちと考えると、なぜ「危険な時代」なのかが理解できます。5 節の最後には、「**こういう人たちを避けなさい**」とあります。パウロによれば、**これが、教会内の不義な者たちに対する義なる者の応答**です。ここで言っているのは、「クリスチャンを名乗りながらも、人生が（そして心も）変えられていない人々」のことです。自分の欲望に合うように聖書を解釈する人たちのことです。**こういう人たちを避けなさい。**なぜでしょうか。We can see the answer in vs 6-7.

答えは、6~7 節にあります。6 節には、「**彼らの中には、家々に入り込み、愚かな女たちをたぶらかしている者たちがいます。その女たちは様々な欲望に引き回されて罪に罪を重ね、**」とあります。私たちが彼らに影響される可能性があるということです。特に信仰に入ったばかりの人々など、弱い人々に影響を及ぼします。私たちは教会を守る必要があります。特に、信仰の若い兄弟姉妹たちを、彼らの影響から守らなければなりません。7 節にはこう続きます。「**いつも学んでいるのに、いつになっても真理を知ることができません。**」つまり、彼らは聖書を知っており、聖句を暗記してさえいるかもしれませんが、彼らのうちに真理はないということです。では、どうすれば私たちはそのような者たちから自分を守るのでしょうか？ 私たち自身が、聖書を知る必要があります。ベレアの人々のように、聖書を調べましょう。使徒の働き 17 章 10~11 節には、ベレアの人々についてこう記されています。「**兄弟たちはすぐ、夜のうちにパウロとシラスをベレアに送り出した。そこに着くと、二人はユダヤ人の会堂に入って行った。この町のユダヤ人は、テサロニケにいる者たちよりも素直で、非常に熱心にみことばを受け入れ、はたしてそのとおりかどうか、毎日聖書を調べた。**」私たちは、聖書を知る責任があるだけでなく、互いに教え合う責任もあります。私は皆さんに、聖書を最初から最後まで読むことに挑戦してほしいと思います。そして読み終えたら、もう一度読みましょう。何度でも、繰り返し読むのです。神はみことばを通して私たちに語りかけ、私たちはみことばによって変えられていきます。ヘブル人への手紙 4 章 12 節に、次のようにあるとおりです。「**神のことばは生きていて、力があり、両刃の剣よりも鋭く、たましいと霊、関節と骨髓を分けるまでに刺し貫き、心の思いやはかりごとを見分けることができます。**」義と不義を見分ける助けを神に求めましょう。神のみことばに深く浸り、それがあなたの心に根を張り、成長し、神の栄光のために実を結ぶことを願いましょう。続けて、テモテへの手紙 3 章 8~9 節を読みましょう。**たぶらかしている者たちは、ヤンネとヤンブレがモーセに逆らったように、真理に逆らっており、知性の腐った、信仰の失格者です。しかし、彼らがこれ以上先に進むことはありません。彼らの愚かさは、あの二人の場合のように、すべての人にはっきり分かるからです。**

ここで、ヤンネとヤンブレとは誰でしょうか？ 聖書には、彼らが誰なのか明確には書かれていません。しかしユダヤの伝承によれば、彼らはモーセとアロンに対抗した魔術師たちとされています。伝えられるところによると、彼らはイスラエルの民とともにエジプトを脱出

し、出エジプト記 32 章でアロンが作った金の子牛をイスラエルの民が拝んだ際、その偶像礼拝に深く関与していたとされています。また、民数記 22 章 22 節に出てくる、バラムについていた二人の若者をヤンネとヤンブレであると解釈するヘブライ語文献もあります。もちろん、これらはすべて推測である、福音の真理として受け取るべきではありません。重要なのは、彼らがユダヤ人の間で、人々を神への礼拝から遠ざけたという大きな害をもたらしたという点です。このような人たちこそが、私たちが教会内で遭遇し得る危険の一例です。神から、そして教会から私たちを遠ざける人々です。このような人々は、抑えなければ急速に増殖して教会とキリストのからだを損なうがん細胞のような存在です。**こういった人々に対する神の義なる応答とはどのようなものでしょうか？彼らがこれ以上先に進むことはありません。彼らの愚かさは、あの二人の場合のように、すべての人にはっきり分かるからです。**彼らは、最後には滅びます。**ローマ人への手紙 1 章 18 節**に、次のようにあるとおりです。「**というのは、不義によって真理を阻んでいる人々のあらゆる不敬虔と不義に対して、神の怒りが天から啓示されているからです。**」また、**箴言 15 章 29 節**には、「**主は悪しき者から遠くにおられ、正しい人の祈りを聞かれる**」とあります。そうです、不義の中にあり続ける者は、最終的に必ず滅びます。神のさばきを免れることはできないからです。⁴**悪しき者は そうではない。まさしく 風が吹き飛ばす秕殻だ。**⁵**それゆえ 悪しき者はさばきに 罪人は正しい者の集いに 立ち得ない。**⁶**まことに 正しい者の道は主が知っておられ 悪しき者の道は滅び去る。（詩篇 1 篇 4~6 節）**

このメッセージを前向きな言葉で締めくくりたいと思います。確かに、私たちは義なる者と不義な者を見分け、不敬虔な行いを続ける教会内の不義な人々を避けるようにと召されています。新鮮なトマトのかごから腐ったトマトを取り除いて、他のトマトが腐るのを防ぐのと同じです。しかし同時に、誤った道を歩んでいる兄弟姉妹を正す責任も私たちにはあります。道を踏み外している人に対して、さばく姿勢や上に立つ姿勢からではなく、心からその人のたましいと成長を気にかけて、愛をもって正すのです。**もしあなたの兄弟があなたに対して罪を犯したなら、行って二人だけのところで指摘しなさい。その人があなたの言うことを聞き入れるなら、あなたは自分の兄弟を得たことになります。（マタイの福音書 18 章 15 節）**このみことばは、過ちを犯している兄弟姉妹を、へりくだりと愛と敬意をもって正すという私たちの責任を強調しています。**ガラテヤ人への手紙 6 章 1 節**に、次のようにあるとおりです。「**兄弟たち。もしだれかが何かの過ちに陥っていることが分かったなら、御霊の人であるあなたがたは、柔和な心でその人を正してあげなさい。また、自分自身も誘惑に陥らないように気をつけなさい。**」ここで重要なのは、教会で誤った行動をしている人をどのように正して回復へ導くかということです。ガラテヤ 6 章 1 節にあるように、**柔和な心で**、怒りや高ぶりからではなく、常に愛を動機として行うのです。

なぜ「回復」なのでしょう？それは、神がご自身の栄光のために、人をご自身のもとへ回復させたいという、究極の願いを示すからです。それこそが神のアガペーの愛であり、恵みであり、あわれみです。

誰かに声をかけてみるよう、神があなたに働きかけていませんか。聖霊に導いていただきましょう。何を言うべきでしょうか。どのように、いつ言うべきでしょうか。また、ここにいらっしゃる皆さんの中でまだ神を自分の神として知らないという方は、神があなたに呼びかけておられ、あなたが神ご自身の元に回復させられることを願っておられる、このことを知

ってください。神について、そしてあなたへの神の愛についてもっと知りたい方は、ベン牧師や明石牧師、または教会の誰にでも声をかけてください。お祈りしましょう。

2Timothy 3:1-9 A Righteous Response to Unrighteousness

There is a common saying in the Philippines that is often used to describe how a negative influence in a group can affect others, suggesting that issues like corruption or unethical behavior may spread if not addressed. The saying is “If there is a rotten tomato in a basket of fresh tomatoes, all of them will rot” (Filipino: Kapag may bulok na kamatis sa tumpok ng mga sariwang kamatis, mabubulok din ang lahat). This has a similar meaning to the English proverb; “One bad apple spoils the bunch.” In Japan, they say “Shu ni majiwareba akaku naru.” There is a bible verse that supports this **1 Corinthians 15:33** “Do not be misled: **“Bad company corrupts good character.”**”

Today, we will be covering 2 Timothy 3:1-9. Different Bible versions have different headings for this passage. ESV-“Godlessness in the Last Days”; NKJV-“Perilous Times and Perilous Men”; NLT-“The Dangers of the Last Days.” I chose to title this message, “A Righteous Response to Unrighteousness”

To be able to understand what “unrighteousness” is, let us start by defining “righteousness”. The dictionary defines righteousness as the quality of being morally right or justifiable. In the Bible, God’s standard for righteousness is Himself. This is impossible to attain. **Isaiah 64:6** says, “We have all become like one who is unclean, and all our righteous deeds are like a polluted garment. We all fade like a leaf, and our iniquities, like the wind, take us away.” We can never be righteous on our own in the eyes of God. The good news is that we have been made righteous in the eyes of God because of what Jesus did on the cross. **2 Corinthians 5:21** says, “For our sake he made him to be sin who knew no sin, so that in him we might become the righteousness of God.”. Of course, I am speaking to those who have received Jesus in their lives based on what **Romans 10:9-10** says, “because, if you confess with your mouth that Jesus is Lord and believe in your heart that God raised him from the dead, you will be saved. For with the heart, one believes and is justified, and with the mouth one confesses and is saved,” and **Ephesians 2:8-9**, “For by grace you have been saved through faith. And this is not your own doing; it is the gift of God, not a result of works, so that no one may boast.” So based on this, we can define righteousness as “The quality of being right before God, justified through Jesus Christ by grace through faith and being sanctified daily through God’s Word and His Holy Spirit.” So, it now follows that unrighteousness would be the opposite of righteousness. **It is the state of NOT being right before God because one is not in Christ.**

As I have titled this message, “A Righteous Response to Unrighteousness,” this passage cites two kinds of response. **First**, the response of righteous people to unrighteousness, and **second**, God’s righteous response to unrighteousness. Let us read **2 Timothy 3:1-5**. “But understand this, that in the last days there will come times of difficulty. For people will be lovers of self, lovers of money, proud, arrogant, abusive, disobedient to their parents, ungrateful, unholy, heartless, unappeasable, slanderous, without self-control, brutal, not loving good, treacherous, reckless, swollen with conceit, lovers of pleasure rather than lovers of God, having the appearance of godliness, but denying its power. Avoid such people.” Let us go over a few of the list that Paul enumerated to see if it is going on now and if we are truly in the last days. **Lovers of self**. With the rise of social media, what is the number one subject matter people promote on social media

platforms? Isn't it themselves? Self is indeed the dominant subject across these social media platforms. The primary content revolves around personal identity, experiences, opinions and image. Yes, people do also share news, current events, art, and ideas, but, the self is always centered in the narrative. **A preacher once said, before, when we see a beautiful waterfall, we take a picture of the waterfall. But nowadays, when we see a beautiful waterfall, we take a picture of the waterfall with us in it. We no longer witness beauty, we insert ourselves into it.** Even natural beauty became backdrops to personal narrative. Of course, there's nothing wrong with taking selfies. The problem comes when our needs and desires supersede all others, including God -when the narrative is "It's all about me. For John Piper, humans are created in God's image to find joy in reflecting God's glory, not in self-exaltation. He contrasts this with the modern idea of self-esteem, arguing that true fulfillment comes from a right relationship with God and a focus on His greatness, not on self-love or self-esteem. **"from him and through him and to him are all things. To him be glory forever" (Romans 11:36), I say to everyone among you not to think of himself more highly than he ought to think" (Romans 12:3)"**

Next, **lovers of money**. The apostle Paul, in his first letter to his young disciple, Timothy, had this to say: **"For the love of money is a root of all kinds of evil. Some people, eager for money, have wandered from the faith and pierced themselves with many griefs" (1 Timothy 6:10)**. It is very evident in the world that those who have money always want more. Greed is very rampant, in fact, a lot of crimes are committed because of money. **Proud and arrogant**. This also ties in with **self love**. Remember that at the center of pride is I {Slide}. **Abusive**. All you have to do is go and open your cellphone and watch cases where parents abuse their own children and even starve them to death. We also see and hear of those in authority who abuse their power, spouses who beat up on their spouses, and so much more that we see in the world. **Disobedient to parents**. Well, we do not need to look outside to see proof of this. Who here has not been disobedient to their parents at one time or another. I know I have. This passage goes on to list a number of ungodly behaviors that if we go over all of them one by one, you will not want me to preach again because I might take up 3 hours or more. (However, I believe that all of them are by-products of putting oneself at the center or on top of everything) So let me go to the last part in **verse 5**. **"Having the appearance of godliness but denying its power."** What does this mean? This refers to people who claim to be Christians but do not act as Christians. **Titus 1:16 "They profess to know God, but they deny him by their works. They are detestable, disobedient, unfit for any good work"**, just like the scribes and pharisees that were often rebuked by Jesus for focusing on outward religious behavior while neglecting the true condition of the heart. Do you know what Jesus said to them?" **27 "Woe to you, scribes and Pharisees, hypocrites! For you are like whitewashed tombs, which outwardly appear beautiful, but within are full of dead people's bones and all uncleanness. So, you also outwardly appear righteous to others, but within you are full of hypocrisy and lawlessness"** **Matthew 23:27-28**. Christians who are Christian in name but not in life. Their lives are not transformed; they are not living in the power of the Holy Spirit. Remember that Paul is warning Timothy, a pastor, of these kinds of people. So, if you read from verse one again, with this in mind- these ungodly people are people in church, then we can understand why these are perilous times. Verse 5 ends by saying, **"Avoid such people."** According to Paul, **this is how the**

righteous should respond to unrighteous people in church. Remember, we are referring to those who profess to be Christians but whose lives (and hearts) are not transformed. Those who interpret scripture to conform with their desires. **Avoid such people.** Why? We can see the answer in vs 6-7. **Verse 6, “For among them are those who creep into households and capture weak women, burdened with sins and led astray by various passions,”** meaning, we can be influenced by them. They can influence the weak, especially new converts. We need to protect the church, especially our young brothers and sisters from their influence. **Verse 7 continues to say, “always learning and never able to arrive at a knowledge of the truth.”** This means that they may know the Bible, memorize verses even, yet, the truth does not dwell in them. So how do we protect ourselves from such? We need to know the Bible ourselves. Search scripture as the Bereans did. **Acts 17:10-11** says this about the Bereans, **“The brothers immediately sent Paul and Silas away by night to Berea, and when they arrived they went into the Jewish synagogue. Now these Jews were more noble than those in Thessalonica; they received the word with all eagerness, examining the Scriptures daily to see if these things were so.”** We are responsible for knowing scripture as well as teaching it to each other. I would challenge you to read the Bible from cover to cover. And when you’re done, read it again. And again and again. God speaks to us through His Word and we are also transformed through His Word. **Hebrews 4:12** says, **“For the word of God is living and active, sharper than any two-edged sword, piercing to the division of soul and of spirit, of joints and of marrow, and discerning the thoughts and intentions of the heart.”** Will you ask God to help you discern the righteous from the unrighteous? Will you immerse yourself in God’s word and allow it to take root in your hearts and grow and bear fruit for His glory? Let us continue and read **2 Timothy 3:8-9. “Just as Jannes and Jambres opposed Moses, so these men also oppose the truth, men corrupted in mind and disqualified regarding the faith. But they will not get very far, for their folly will be plain to all, as was that of those two men.”**

So, who are Jannes and Jambres? The Bible is not very clear about who these men are, but according to Jewish tradition, these are the magicians that opposed Moses and Aaron. Supposedly, they went with the Israelites when they escaped from Egypt and were instrumental in the Israelites’ worship of the golden calf, which Aaron made in Exodus 32. Some Hebrew writings interpret Balaam’s 2 servants to be Jannes and Jambres in Numbers 22:22. Of course, these are all speculations and must not be taken as gospel truth. Suffice it to say that these two men caused great harm among the Jews in leading them astray from worshipping God. These kinds of people are the perils we may encounter in the church. People who lead us away from God and from the church. These people are like cancer cells that if not suppressed will largely multiply to a great extent that will harm the Church and the body of Christ. **What is God’s righteous response to them? “They will not get very far, for their folly will be plain to all.”** They will fail. **Romans 1:18** says, **“For the wrath of God is revealed from heaven against all ungodliness and unrighteousness of men, who by their unrighteousness suppress the truth.”** And **Proverbs 15:29** says, **“The Lord is far from the wicked, but he hears the prayer of the righteous.”** Yes, Those who continue to persist in unrighteousness will ultimately fail for they will not be able to withstand God’s Judgement. **“The wicked are not so, but are like chaff that the wind drives away”** ⁵ **Therefore the wicked will not stand in the judgment, nor**

sinner in the congregation of the righteous;⁶ for the LORD knows the way of the righteous, but the way of the wicked will perish. **Psalms 1:4-6**

I would like to end my message on a positive note. Yes, we are called to discern between the righteous and the unrighteous and to avoid the unrighteous people in church who persist in their ungodly behavior, to remove the rotten tomato from the full fresh basket of tomato to avoid contamination. But we still have the responsibility of correcting the errant brother or sister. Lovingly correcting those who are going astray – not from a place of judgment or superiority, but out of genuine care for their well-being and growth. ¹⁵ “If your brother sins against you, go and tell him his fault, between you and him alone. If he listens to you, you have gained your brother. **Matthew 18:15**. This highlights our responsibility to correct our erring brothers or sisters with humility, love and respect – focusing on constructive feedback and positive outcomes rather than criticism. **Galatians 6:1** says, “Brothers, if anyone is caught in any transgression, you who are spiritual should restore him in a spirit of gentleness. Keep watch on yourself, lest you too be tempted.” The key here now is how to correct in order to restore someone in the Church who is misbehaving – Galatians 6:1 said – **in a spirit of gentleness**, always motivated with love not out of anger or pride.

Why restoration? It displays God’s ultimate desire to bring back humanity to Himself for his glory: that is agape love; that’s grace; that is mercy.

Is there someone that God is putting in your heart to reach out to? Allow the Holy Spirit to guide you. What will you tell them? How will you tell them? and, When? And if there is anyone here who does not know God personally, know that He is calling to you and He desires that you be restored to Himself. You can approach Pastor Ben or Pastor Akashi or any person in church to learn more about how you can know more about God and His love for you. Let us pray.